

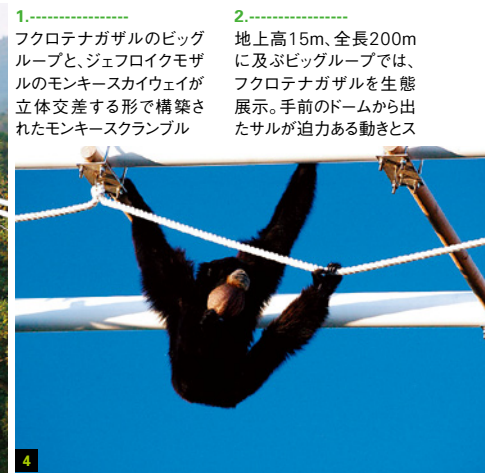
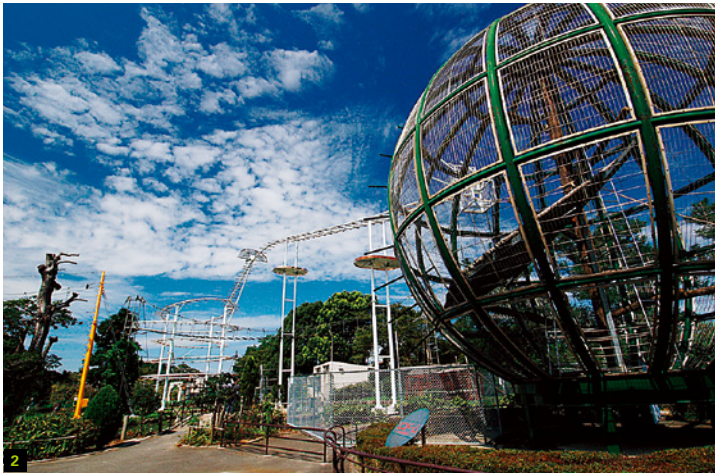


>> PROJECT REPORT

日本モンキーパーク
モンキースクランブル



日本モンキーパーク モンキースクランブル



1. フクロテナガザルのビッグ
ループと、ジェフロイクモザ
ルのモンキースカイウェイが
立体交差する形で構築され
たモンキースクランブル

2. 地上高15m、全長200m
に及ぶビッグループでは、
フクロテナガザルを生態
展示。手前のドームから出
たサルが迫力ある動きとス

世界最高峰のサル専門動物園として “遊び”と“学び”を融合した親しみやすい生態展示を新設

遊園地と世界でも数少ないサル専門の動物園を複合した「日本モンキーパーク」を運営する(株)名鉄インプレスは、2006年9月16日、動物園エリアのリニューアル第一弾となる「モンキースクランブル」をオープンした。

同社は名古屋鉄道(株)から分社独立後、積極的に経営改革を進めており、その一環として同施設のリニューアル事業を推進してきた。06年3月にファミリー向けの新遊戯ゾーン「モンパラ(モンキッズ・パラダイス)」を

オープンしたのを皮切りに、今夏にはプールゾーンを「モンブル」としてリニューアルするなど新機軸を打ち出すことで集客増を実現し、再活性化に向けた取組みが注目されている。

日本モンキーパークの動物園エリアは、1956年に文部省所管の(財)日本モンキーセンターとしてスタート。設立当初から日本で最高峰の霊長類の研究機関として世界的な知名度の高さを誇っているだけでなく、サル



ビードで移動していく

3.4.-----
下から仰ぎ見ることのできる姿がよく観察できる。哺乳類中最大音量という鳴き声も迫力十分

5.-----
モンキースカイウェイでは、平均地上高6m、全長100mの吊り橋が観覧者通路を跨ぐようにつくられている

6.7.-----
頭上を行き交うサルの姿を間近に観察できる。飼育者が下から投げ上げた餌をキャッチする“パフォーマンス”も人気のひとつ

8.-----
長い手足と尻尾を使い1日中活発に行動するジェフロイクモザル7頭を生態展示

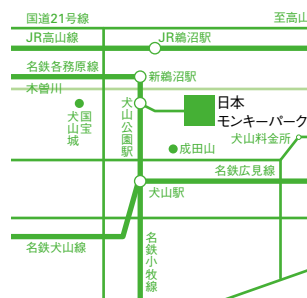
9.-----
既設のリスザルの島には、20頭以上が放し飼いにされ、中に入ってふれあえる

10.-----
モンキースクランブルの



プロジェクト概要

- 施設名称/
日本モンキーパーク
「モンキースクランブル」
- 所在地/愛知県犬山市犬山官林26
- オープン/2006年9月16日
- 事業主体/株名鉄インプレス
- 施工/阪和興業株
- 施設面積/動物園エリア199,712㎡、
遊園地エリア230,189㎡
- 施設内容/
ビッグループ、モンキースカイウェイ、
リスザルの島(既設)
- 入園料/
大人(中学生以上)1,500円、
小学生800円、幼児(3歳以上)600円
※遊園地と動物園が両方とも利用できる
入園料
※2007年3月1日より一部料金改定の予定
- 営業時間/
10:00~17:00(土・日祝日は9:30~)
※季節により変動
- 定休日/不定(冬季休園あり)



開設と合わせ、ビジターセンターや園内案内図などのサインも模様替え。ピクチャースポットとなるモニュメントも新設された

の飼育数においても74種・約700頭と世界トップの地位を占めている。しかしながら、学術的な評価が高い反面、遊園地ゾーンに比べて集客力が弱いことが課題となっており、その対応策として、園全体を回遊してもらえらる仕組みづくりに取り組んだのが前記のリニューアルであった。モンキースクランブルは、その活性化策の第三弾にあたるもので、「世界動物園」構想の視点から“遊び”と“学び”を融合し、親しみやすい展示によって動物園への関心を高め、集客増へとつなげる狙いがある。

同施設は、既設の「リスザルの島」に加え、全長200mの“巨大うんてい”型のビッグループにより「フクロテナガザル」の生態展示を行なう「ビッグループ」と、全長100mの吊り橋で「ジェフロイクモザル」の生態を展

示する「モンキースカイウェイ」を新設。ビッグループでは上空を枝から枝へと移動するブラキエーションという迫力ある生態を見ることができ、モンキースカイウェイでは、観覧通路を跨いで設置された頭上の吊り橋を行き交う姿を間近に見ることができる。また、リスザルの島では20頭以上が放し飼いにされており、これら3種類のサルの生態を立体的に観察できるのが特色。

同施設がオープンしたことで、ファミリー層に加えて「若いカップルや女性同士のグループ客も多く訪れるようになり、とりわけ土・日祝日にはかなりの賑わいを見せている」(財日本モンキーセンター 附属博物館 世界サル類動物園 園長・加藤 章氏)など、パーク全体の再活性化に向けた動きは着実に歩みを進めている。



阪和興業株式会社

機械部

レジヤ施設第一課

〒541-8585

大阪市中央区伏見町四丁目3番9号

TEL.06-7525-5142

FAX.06-7525-5302

レジヤ施設第二課

〒104-8429

東京都中央区築地一丁目13番1号

TEL.03-3544-1908

FAX.03-3544-2252

<http://www.hanwa.co.jp/>